地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」単元指導計画

１　目次

○　地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」における単元指導計画の概要・・・・・・・・・・・・・２

○　地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」における各小単元の単元指導計画・・・・・・・・３～７

２　活用に当たって

(1) 地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」について、生徒が日本の各地域における地域的特色や地域の

課題を理解することに加え、社会的事象に課題意識をもち、他者と共に解決しようとする意識を高

めることをねらいとした単元指導計画となっています。

(2) 社会的事象に課題意識をもち、他者と共に解決しようとする意識を高めることができるよう、自

然災害・防災の視点を活用し、他者と共に課題の解決策を考察、構想する問いを、地理的な見方・

考え方と関連付けて各地域で設定しています。この問いとともに「自然災害・防災対策一覧シート」

を用いて、地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」で取り上げる自然災害・防災に関する事項を整理しま

したので、参考にしてください。

　　 (3) 自らの学習状況を把握し、学習を調整しながら単元の学習課題の解決を図ることができるよう、

　　　 「単元見通し・振り返りシート」に記述する活動を単元指導計画に位置付けています。詳細は、

別紙を参照してください。

　　 (4) この単元指導計画は、先生方が活用しやすいように、フォーマットを適宜修正してください。

地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」における単元指導計画の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 次 | 小単元名（時数）【全40時間】  －考察の仕方－ | 小単元の学習課題 | ○自然災害［防災］に関する事項  ●「自然災害・防災の視点を活用し、他者と共に課題の解決策を考察、構想する問い」  【地理的な見方・考え方】 |
| １ | 日本の諸地域を学ぶに当たって(1) | 日本の諸地域では、どのような学習をするのだろうか。 | 自然災害・防災の視点を活用して地域的特色を捉えるための導入 |
| ２ | 北海道地方(5)  －自然環境を中核として－ | 北海道地方における人々の生活や産業は、自然環境とどのように関わっているのだろうか。 | ○大雪による路面の凍結［ロードヒーティングの設置等］  ●「北海道地方で起こる自然災害と共に、人々はどのような工夫をしながら生活しているの  だろうか。」【人間と自然環境との相互依存作用】 |
| ３ | 九州地方(5)  －自然環境を中核として－ | 九州地方において、自然環境と関わる人々の生活や産業には、どのような特徴があるの  だろうか。 | ○火山噴火［避難シェルターの設置等］  ●「九州地方で起こる自然災害と共に、人々はどのような工夫をしながら生活しているの  だろうか。」【人間と自然環境との相互依存作用】 |
| ４ | 中部地方(5)  －産業を中核として－ | 中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備は、どのような影響を与えているのだろうか。 | ○洪水［堤防の設置等］  ●「洪水等の自然災害は、他地域と結び付き発展している東海の産業に、どのような影響を  与えるのだろうか。」【空間的相互依存作用】 |
| ５ | 近畿地方(5)  －産業を中核として－ | 近畿地方では、生活・文化の特色を生かして産業を発展させるために、どのようなことが  必要だろうか。 | ○地震［避難訓練、防災教育等］  ●「阪神・淡路大震災の経験を生かし、近畿地方はどのような人々の生活や産業の特徴が  見られる地域になったのだろうか。」【地域】 |
| ６ | 中国・四国地方(5)  －交通・通信を中核として－ | 中国・四国地方では、人々の生活や産業をよりよくするために、どのような交通網や通信網の整備が必要だろうか。 | ○大雨による土砂災害［砂防ダムの設置等］  ●「大雨による土砂災害は、他地域と結び付き生活している中国・四国地方の人々に、  どのような影響を与えるのだろうか。」【空間的相互依存作用】 |
| ７ | 東北地方(6)  －人口や都市・村落を中核として－ | 東日本大震災からおよそ10年が経過し、人口減少が進む東北地方では、東北地方の特色を生かし、復興に向けてどのような地域づくりができるだろうか。 | ○地震、津波［高台への移転等］  ●「人口減少が進む東北地方では、どのような災害に強いまちづくりが行われているの  だろうか。」【地域】 |
| ８ | 関東地方(7)  －人口や都市・村落を中核として－ | 関東地方では、人口集中に伴う課題の解決に向けて、関東地方の特色を生かし、どのような地域づくりができるだろうか。 | ○地震、津波、洪水［都市機能の分散、堤防の設置等］  ●「人口が集中する東京を、災害に強いまちにするために、どのようなことができるだろうか。」  【地域】 |
| ９ | 日本の諸地域を学んで(1) | 日本の諸地域の学習を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて、どのようなことが大切だと  考えるだろうか。 | 自然災害・防災の視点を活用して捉えてきた地域的特色のまとめ |

地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」における各小単元の単元指導計画

※　評価規準について、◇は「評定に用いる評価」、◆は「学習改善につなげる評価」を示す。

※　地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」における単元指導計画の概要にある「自然災害・防災の視点を活用し、他者と共に課題の解決策を考察、構想する問い」を省略して、地理的分野Ｃ⑶「日本の諸地域」における各小単元の単元指導計画では

「自然災害・防災の視点を取り入れた問い」と表記する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第１次 | | 日本の諸地域を学ぶに当たって | | 小単元の学習課題 | 日本の諸地域では、どのような学習をするのだろうか。 | |
|  | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | | | |
| 評価規準 | | | 地域的特色を捉える視点に関心をもち，日本の諸地域の学習に対する見通しをもとうとしている。 | | | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | | 学習活動 | | 評価規準 |
| １ | 日本の諸地域では、どのような学習をするのだろうか。 | | | ・自然災害・防災の視点を例に、日本の諸地域における地域的特色を捉えるための様々な視点に関心をもつ。  ・地域に見られる様々な事象が、自然環境、産業、交通・通信、人口や都市・村落等の視点によって整理できることを理解する。 | | ◆ウ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第２次 | | 北海道地方－自然環境を中核として－ | 小単元の学習課題 | | 北海道地方における人々の生活や産業は、自然環境とどのように関わっているのだろうか。 | | | |
|  | ア　知識・技能 | | | イ　思考・判断・表現 | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | |
| 評  価  規  準 | 北海道地方について、自然環境を中核として取り上げた寒冷な気候やその  自然環境の中で生きる人々の生活の工夫、自然環境を生かして発展させてきた産業等に関する特色や課題を理解している。 | | | 北海道地方について、自然環境を中核として取り上げた寒冷な気候の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | | | 北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、寒冷な気候を生かした  人々の生活や産業の特色及び課題に関心をもち、主体的に追究しようとしている。 | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | 学習活動 | | | 評価規準 | | ○自然災害［防災］に関する事項  ●「自然災害・防災の視点を取り入れた問い」【地理的な見方・考え方】 |
| １ | 北海道地方を大きくながめると、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・北海道地方において、自然環境に関連する地理的な事象を見いだす。  ・単元の学習課題に対する予想を「単元見通し・振り返りシート」に記述する。 | | | ◆ウ | | ○大雪による路面の凍結（札幌市等）［ロードヒーティングの設置等］  ●「北海道地方で起こる自然災害と共に、人々はどのような工夫をしながら  生活しているのだろうか。」【人間と自然環境との相互依存作用】  （第２時） |
| ２ | 北海道地方の自然環境の中で、人々はどのような工夫をしながら生活しているのだろうか。 | | ・北海道地方の寒冷な気候に伴う自然災害と共に生活するための人々の工夫を考察する。  ・雪が人々の生活に与える影響を理解する。 | | | ◆ア | |
| ３ | 北海道地方における、自然環境を生かした農業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・北海道地方で米の生産がさかんになった背景を、開拓の歴史を踏まえて理解する。  ・北海道地方で行われている米の品種改良等の必要性や、畑作、酪農がさかんになった理由を、自然環境との関わりから考察する。 | | | ◆ア | |
| ４ | 北海道地方における、自然環境を生かした観光業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・北海道地方において、豊かな自然や寒冷な気候を生かした観光業がさかんであることを理解する。  ・北海道地方の持続可能な観光業の発展に向けて、環境保全をしながら観光業を発展させるために必要なことを考察する。 | | | ◇ア | |
| ５ | 北海道地方における人々の生活や産業は、自然環境とどのように関わっているのだろうか。 | | ・「単元見通し・振り返りシート」に記述した各時間のまとめや既習事項等を活用し、北海道地方における人々の生活や産業と自然環境との関わりを考察する。  ・北海道地方の地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切なことを考  察する。 | | | ◇イ  ◇ウ | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第３次 | | 九州地方－自然環境を中核として－ | 小単元の学習課題 | | 九州地方において、自然環境と関わる人々の生活や産業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | | |
|  | ア　知識・技能 | | | イ　思考・判断・表現 | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | |
| 評  価  規  準 | 九州地方について、自然環境を中核として取り上げた地形や気候、九州  地方の自然環境の中で生きる人々の生活の工夫、自然環境を生かした産業等に関する特色や課題を理解している。 | | | 九州地方について、自然環境を中核として取り上げた人々の生活や産業の特色を、他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | | | 九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と人々の生活や  産業との関わりについての特色及び課題に関心をもち、主体的に追究しようとしている。 | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | 学習活動 | | | 評価規準 | | ○自然災害［防災］に関する事項  ●「自然災害・防災の視点を取り入れた問い」【地理的な見方・考え方】 |
| １ | 九州地方を大きくながめると、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・九州地方において、自然環境に関連する地理的な事象を見いだす。  ・単元の学習課題に対する予想を「単元見通し・振り返りシート」に記述する。 | | | ◆ウ | | ○火山噴火（桜島等）［避難シェルターの設置等］  ●「九州地方で起こる自然災害と共に、人々はどのような工夫をしながら  　　生活しているのだろうか。」【人間と自然環境との相互依存作用】  （第２時） |
| ２ | 九州地方の自然環境の中で、人々はどのような工夫をしながら生活しているのだろうか。 | | ・九州地方の人々が、火山噴火や風雨に伴う自然災害と共に生活するための工夫を考察する。  ・火山がもたらす恵みが、人々の生活に与える影響を理解する。 | | | ◆ア | |
| ３ | 九州地方の農業は、自然環境をどのように生かして行われているのだろうか。 | | ・九州地方において、火山の恵みや温暖な気候を生かした農業が発展していることを理解する。  ・九州地方の農業が、各地の自然環境に応じて発展してきたことを理解する。 | | | ◆ア | |
| ４ | 九州地方の地理的位置は、都市や産業の発展とどのように関わっているのだろうか。 | | ・福岡市を例に、大陸との距離や国内での位置に着目して、都市や産業の発展との関わりを考察する。  ・北九州市の工業の発展を、アジアの国々との位置関係に着目して理解する。 | | | ◇ア | |
| ５ | 九州地方において、自然環境と関わる人々の生活や産業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・「単元見通し・振り返りシート」に記述した各時間のまとめや既習事項等を活用し、北海道地方における生活や産業と自然環境との関わりと比較して、九州地方における生活や産業と自然環境との関わりを考察する。  ・九州地方の地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切なことを考察  する。 | | | ◇イ  ◇ウ | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第４次 | | 中部地方－産業を中核として－ | 小単元の学習課題 | | 中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備は、どのような影響を与えているのだろうか。 | | | |
|  | ア　知識・技能 | | | イ　思考・判断・表現 | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | |
| 評  価  規  準 | 中部地方について、自然環境や交通網の整備等との関わりから、東海、中央  高地、北陸の産業の特色や変化を理解するとともに、各地域の産業がよりよく発展するために抱える課題を理解している。 | | | 中部地方における産業の特色や変化を、自然環境や交通網の整備等と関連  付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | | | 中部地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備  等との関わりから産業の特色や課題に関心をもち、主体的に追究しようとしている。 | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | 学習活動 | | | 評価規準 | | ○自然災害［防災］に関する事項  ●「自然災害・防災の視点を取り入れた問い」【地理的な見方・考え方】 |
| １ | 中部地方を大きくながめると、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・中部地方において、産業に関連する地理的な事象を見いだす。  ・単元の学習課題に対する予想を「単元見通し・振り返りシート」に記述する。 | | | ◆ウ | | ○洪水（木曽川・長良川・揖斐川周辺の低地等）［堤防の設置等］  ●「洪水等の自然災害は、他地域と結び付き発展している東海の産業  に、どのような影響を与えるのだろうか。」【空間的相互依存作用】  （第２時） |
| ２ | 東海の産業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・中京工業地帯の発展の経緯を、自然環境や交通網の整備等との関わりから理解する。  ・洪水等の自然災害が、他地域と結び付き発展している東海の産業に与える影響を  考察する。 | | | ◆ア | |
| ３ | 中央高地の産業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・中央高地の農業や工業の変化について、自然環境や交通網の整備等と関連付けて考察する。  ・自然環境や交通網の整備等との関わりから、中央高地の観光業の特色や課題を理解する。 | | | ◆ア | |
| ４ | 北陸の産業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・北陸では、雪どけ水を稲作や水力発電等に活用し、産業を発展させてきたことを理解する。  ・自然環境との関わりから、北陸の地場産業が発展した理由や課題を理解する。 | | | ◇ア | |
| ５ | 中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備は、どのような影響を与えているのだろうか。 | | ・「単元見通し・振り返りシート」に記述した各時間のまとめや既習事項等を活用し、中部地方の産業の特色や変化と自然環境や交通網の整備との関わりを考察する。  ・中部地方の地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切なことを考察  する。 | | | ◇イ  ◇ウ | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第５次 | | 近畿地方－産業を中核として－ | 小単元の学習課題 | | 近畿地方では、生活・文化の特色を生かして産業を発展させるために、どのようなことが必要だろうか。 | | | |
|  | ア　知識・技能 | | | イ　思考・判断・表現 | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | |
| 評  価  規  準 | 近畿地方について、人々の生活や伝統文化、歴史的景観等と関連した農業、工業、観光業における産業の特色や、よりよい産業の発展のために抱える課題を理解している。 | | | 近畿地方の産業をよりよく発展させるために必要なことを、人々の生活や伝統文化、歴史的景観等の生活・文化と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | | | 近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、人々の生活や伝統文化、歴史的景観等と関連した産業の特色や課題に関心をもち、主体的に追究、解決しようとしている。 | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | 学習活動 | | | 評価規準 | | ○自然災害［防災］に関する事項  ●「自然災害・防災の視点を取り入れた問い」【地理的な見方・考え方】 |
| １ | 近畿地方を大きくながめると、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・近畿地方において、産業に関連する地理的な事象を見いだす。  ・阪神・淡路大震災の経験から、近畿地方の人々の生活や産業において見られる特徴  に関心をもつ。  ・単元の学習課題に対する予想を「単元見通し・振り返りシート」に記述する。 | | | ◆ウ | | ○地震（阪神・淡路大震災等）［避難訓練、防災教育等］  ●「阪神・淡路大震災の経験を生かし、近畿地方はどのような人々の生活や産業の特徴が見られる地域になったのだろうか。」【地域】（第１時） |
| ２ | 近畿地方の伝統的な食文化を支える農業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・京野菜や宇治茶のある食文化を例に、古くから近郊農業が発達してきたという特徴を理解する。  ・伝統的な食文化を発展させるために、近畿地方の農業が抱える課題を理解する。 | | | ◆ア | |
| ３ | 近畿地方の生活に関わる工業には、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・東大阪市を例に、自転車部品等の生活に関わりの深いものづくりをしている中小工場の特徴や、阪神工業地帯における工業発展の歴史を理解する。  ・中小工場や阪神工業地帯が抱える課題を理解する。 | | | ◆ア | |
| ４ | 近畿地方の伝統的工芸品や歴史的景観を生かした観光業には、どのような特徴があるのだろう。 | | ・西陣織等の伝統的工芸品や、町家等の歴史的景観のある町並みを生かした観光業の特色を理解する。  ・近畿地方の古都等に見られる伝統文化，歴史的な景観の保存と開発の在り方を考察する。 | | | ◇ア | |
| ５ | 近畿地方では、生活・文化の特色を生かして産業を発展させるために、どのようなことが必要だろうか。 | | ・既習事項から解決したい課題を選択して、「単元見通し・振り返りシート」に記述した各時間のまとめや既習事項等を活用し、近畿地方において生活・文化の特色を生かして産業を発展させるために必要なことを考察する。  ・近畿地方の地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切なことを考察  する。 | | | ◇イ  ◇ウ | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第６次 | | 中国・四国地方－交通・通信を中核として－ | 小単元の学習課題 | | 中国・四国地方では、人々の生活や産業をよりよくするために、どのような交通網や通信網の整備が必要だろうか。 | | | |
|  | ア　知識・技能 | | | イ　思考・判断・表現 | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | |
| 評  価  規  準 | 中国・四国地方について、交通網や通信網の整備による人々の生活の変化や  産業への影響及び生活や産業をよりよくするための課題を理解している。 | | | 中国・四国地方の人々の生活や産業をよりよくするために必要な交通網や通信網を、他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | | | 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通網や通信網の  整備による人々の生活、産業の変化や特色及び生活や産業をよりよくするための課題に関心をもち、主体的に追究、解決しようとしている。 | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | 学習活動 | | | 評価規準 | | ○自然災害［防災］に関する事項  ●「自然災害・防災の視点を取り入れた問い」【地理的な見方・考え方】 |
| １ | 中国・四国地方を大きくながめると、どのような特徴があるのだろうか。 | | ・中国・四国地方における交通・通信に関連する地理的な事象を見いだす。  ・単元の学習課題に対する予想を「単元見通し・振り返りシート」に記述する。 | | | ◆ウ | | ○大雨による土砂災害（広島県三原市等）［砂防ダムの設置等］  ●「大雨による土砂災害は、他地域と結び付き生活している中国・四  国地方の人々に、どのような影響を与えるのだろうか。」  【空間的相互依存作用】（第２時） |
| ２ | 中国・四国地方における人々の生活は、交通網や通信網の整備によって、どのように変化したのだろうか。 | | ・交通網の整備による移動時間の短縮やそれに伴う課題及びインターネットの活用による生活の利便性の向上等の利点を理解する。  ・大雨による土砂災害は、他地域と結び付き生活している中国・四国地方の人々に、どのような影響を与えるのかを考察する。 | | | ◆ア | |
| ３ | 中国・四国地方の農業は、交通網や通信網の整備によって、どのような影響を受けてきたのだろうか。 | | ・中国・四国地方で生産される農産物が競争力を高めた経緯を理解する。  ・中国・四国地方で生産された農産物が、交通網や通信網の整備により大都市等へ  農産物が出荷され、市場が拡大してきたことを考察する。 | | | ◆ア | |
| ４ | 中国・四国地方の工業や観光業は、交通網や通信網の整備によって、どのような影響を受けてきたのだろうか。 | | ・瀬戸内工業地域を中心に、海上輸送によって国内外へ製品を出荷し、工業が発展し  てきたことを理解する。  ・交通網や通信網の整備による、中国・四国地方の観光業への影響を考察する。 | | | ◇ア | |
| ５ | 中国・四国地方では、人々の生活や産業をよりよくするために、どのような交通網や通信網の整備が必要だろうか。 | | ・既習事項から解決したい課題を選択して、「単元見通し・振り返りシート」に記述した各時間のまとめや既習事項等を活用し、中国・四国地方において、人々の生活や産業をよりよくするために必要な交通網や通信網を考察する。  ・中国・四国地方の地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切なことを  考察する。 | | | ◇イ  ◇ウ | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第７次 | | 東北地方－人口や都市・村落を中核として－ | 小単元の学習課題 | | 東日本大震災からおよそ10年が経過し、人口減少が進む東北地方では、東北地方の特色を生かし、  復興に向けてどのような地域づくりができるだろうか。 | | | |
|  | ア　知識・技能 | | | イ　思考・判断・表現 | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | |
| 評  価  規  準 | 東北地方について、東日本大震災を経験し一層人口減少が進む中で、災害を後世に伝える取組や、高台への移転、防災施設の設置等の災害に強いまちづくりの特徴及び復興に向けた伝統文化や伝統産業の役割を理解している。 | | | 東北地方について、東日本大震災を経験し一層人口減少が進む中での復興に向けた地域づくりを、災害に強いまちづくりの特徴や、伝統文化や伝統産業の役割等と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | | | 東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、東日本大震災を経験し一層人口減少が進む中で見られる課題に関心をもち、主体的に追究、解決しようとしている。 | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | 学習活動 | | | 評価規準 | | ○自然災害［防災］に関する事項  ●「自然災害・防災の視点を取り入れた問い」【地理的な見方・考え方】 |
| １ | 東北地方の人口の推移や分布は、自然環境や交通網の整備とどのような関わりがあるのだろうか。 | | ・東北地方の人口の推移や分布の特徴を、自然環境や交通網の整備との関わりから理解する。  ・単元の学習課題に対する予想を「単元見通し・振り返りシート」に記述する。 | | | ◆ウ | | ○地震、津波（東日本大震災等）［高台への移転等］  ●「人口減少が進む東北地方では、どのような災害に強いまちづくりが  行われているのだろうか。」【地域】（第２時） |
| ２ | 人口減少が進む東北地方において、どのような災害に強いまちづくりが行われているのだろうか。 | | ・岩手県宮古市姉吉地区、田老地区等における、災害を後世に伝える取組や、高台へ  の移転、防災施設の設置等の災害に強いまちづくりの特徴を考察する。 | | | ◆イ | |
| ３ | 人口減少が進む東北地方において、伝統文化や伝統産業には、どのような特徴があるだろうか。 | | ・伝統文化と農業との関係や、伝統文化を観光として生かしていることを理解する。  ・地元でとれる材料を使い、農家の副業として発達してきた伝統産業の特徴を理解  する。 | | | ◇ア | |
| ４ | 人口減少が進む東北地方において、復興に向けた地域づくりには、どのようなことが必要だろうか。 | | ・伝統文化や伝統産業が震災を経験した人々の心の支えとなり、地域を活性化する役割があることを考察する。  ・復興に向けた地域づくりに必要なことを既習事項と関連付けて考察する。 | | | ◇イ  ◆ウ | |
| ５ | 東日本大震災からおよそ10年が経過し、人口減少が進む東北地方では、東北地方の特色を生かし、復興に向けてどのような地域づくりができるだろうか。 | | ・東北地方の学習を通して自分が解決したい課題を設定し、「単元見通し・振り返りシート」に記述した各時間のまとめや既習事項、自分で調べた資料等を活用して  追究する。  ・課題解決に向けて、自分の考えをまとめる。 | | | ◆ウ | |
| ６ | ・多面的・多角的に課題の解決策を構想するため、似た課題を追究しているグループ及び自分とは異なる課題を追究したグループで自分の考えを基に対話する。  ・東北地方の地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切なことを考察  する。 | | | ◇ウ | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第８次 | | 関東地方－人口や都市・村落を中核として－ | 小単元の学習課題 | | 関東地方では、人口集中に伴う課題の解決に向けて、関東地方の特色を生かし、どのような地域づくりができるだろうか。 | | | |
|  | ア　知識・技能 | | | イ　思考・判断・表現 | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | |
| 評  価  規  準 | 関東地方について、人口分布や動態とその背景、東京大都市圏の拡大に伴う生活への影響や産業が抱える課題を理解している。 | | | 関東地方について、人口分布や動態、首都機能に関する特色ある事象を中核として、それをそこに暮らす人々の生活・文化や産業等に着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | | | 関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口集中が人々の生活や  産業等に与える影響に課題意識をもち、主体的に追究、解決しようとしている。 | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | 学習活動 | | | 評価規準 | | ○自然災害［防災］に関する事項  ●「自然災害・防災の視点を取り入れた問い」【地理的な見方・考え方】 |
| １ | 関東地方の人口分布と自然環境には、どのような関係がある  のだろうか。 | | ・関東地方の人口分布の特徴を、自然環境との関わりから理解する。  ・単元の学習課題に対する予想を「単元見通し・振り返りシート」に記述する。 | | | ◆ウ | | ○地震、津波、洪水（首都直下地震、荒川周辺の低地等）  ［都市機能の分散、堤防の設置等］  ●「人口が集中する東京を、災害に強いまちにするために、どのようなことが  できるだろうか。」【地域】（第５時） |
| ２ | なぜ東京に人口が集中するのだろうか。 | | ・東京に人口が集中する理由を考察する。  ・東京に首都機能や都市機能が集中していることを理解する。 | | | ◆ア  ◆イ | |
| ３ | 東京を中心に人口が集中している東京大都市圏は、どのような課題を抱えているのだろうか。 | | ・東京大都市圏の拡大の背景を理解する。  ・東京大都市圏の拡大によって生じた課題を考察する。 | | | ◆ア  ◆イ | |
| ４ | 東京を中心とした東京大都市圏への人口集中によって、農業や工業にどのような影響があるのだろうか。 | | ・東京大都市圏への人口集中による農業や工場の立地への影響を考察する。  ・自然災害に伴う東京大都市圏を支える農業への影響を予想する。 | | | ◇ア  ◇イ | |
| ５ | 人口が集中する東京を、災害に強いまちにするために、どのようなことができるだろうか。 | | ・都心部（千代田区、港区、中央区等）、臨海部（江戸川区、江東区、大田区等）、  郊外部（多摩市、八王子市等）のいずれかの地域から選択し、地理的な事象を根拠に、人口が集中する東京を災害に強いまちにするための解決策について構想したことを基にグループで対話する。  ・他者の意見を踏まえ、人口が集中する東京を災害に強いまちにするために大切なことについて考察する。 | | | ◆ウ | |
| ６ | 関東地方では、人口集中に伴う課題の解決に向けて、関東地方の特色を生かし、どのような地域づくりができるだろうか。 | | ・関東地方の学習を通して自分が解決したい課題を設定し、「単元見通し・振り返りシート」に記述した各時間のまとめや既習事項、自分で調べた資料等を活用して追究する。  ・課題解決に向けて、自分の考えをまとめる。 | | | ◆ウ | |
| ７ | ・多面的・多角的に課題の解決策を構想するため、似た課題を追究しているグループ及び自分とは異なる課題を追究したグループで自分の考えを基に対話する。  ・関東地方の地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切なことを考察  する。 | | | ◇ウ | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第９次 | | 日本の諸地域を学んで | | 小単元の学習課題 | 日本の諸地域の学習を振り返り、よりよい社会づくりに向けて、どのようなことが大切だと考えるだろうか。 | |
|  | | | ウ　主体的に学習に取り組む態度 | | | |
| 評価規準 | | | 日本の諸地域における地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切だと考えてきたことに関心をもち、主体的に追究しようとしている。 | | | |
| 時 | 各時間の学習課題 | | | 学習活動 | | 評価規準 |
| １ | 日本の諸地域の学習を振り返り、よりよい社会づくりに向けて、どのようなことが大切だと考えるだろうか。 | | | ・各小単元において、自然災害・防災の視点を活用し、課題の解決策を考察、構想して捉えた地域的特色を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて  大切だと考えてきたことをまとめたカードを用いて、自分の考えを振り返る。  ・自分の考えを基に、グループで対話し、学級全体で考えを共有する。  ・次のＣ⑷「地域の在り方」では、本時考えたことを活用して、学習を深めていくことを理解する。 | | ◆ウ |

※　評価規準について、本小単元において、日本の諸地域の学習を踏まえ、よりよい社会づくりに向けて大切だと考えたことを、次のＣ⑷「地域の在り方」で活用して学習し「評定に用いる評価」を行う。そのため、ここでは「学習改善につなげ

る評価」とした。